

第2章 岐阜県民の健康状態

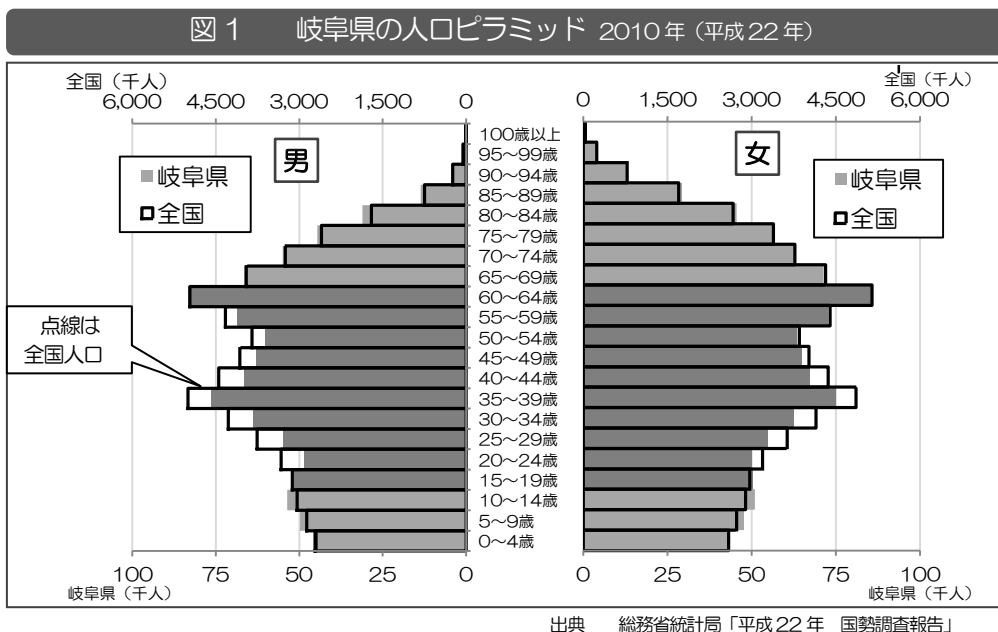
第2章 岐阜県民の健康状態

1 人口・人口動態

(1) 人口

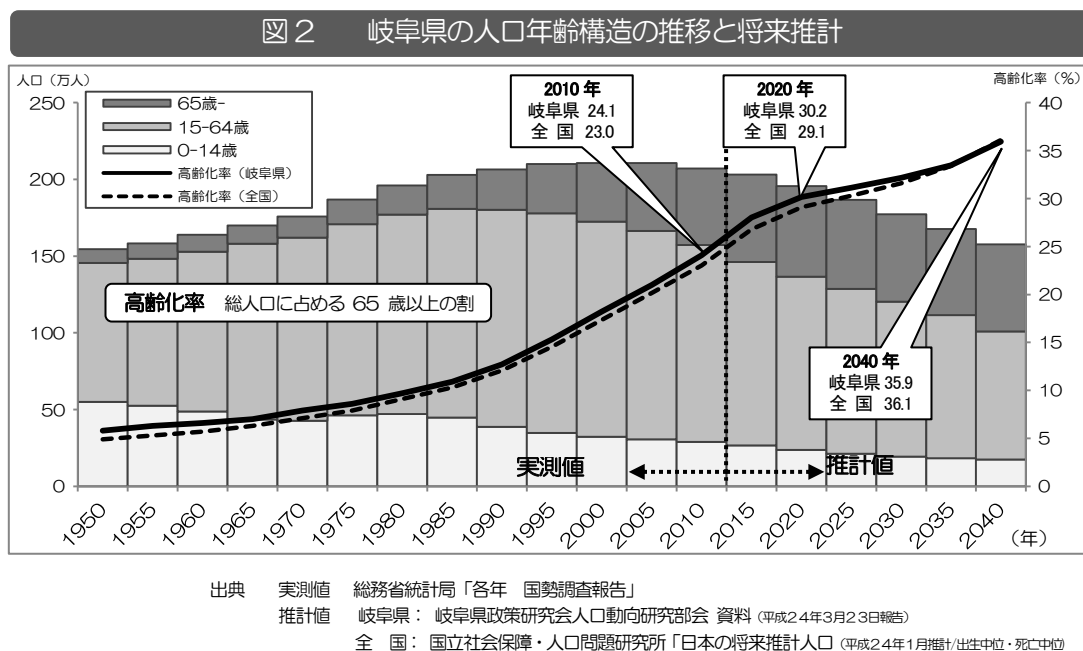
総人口は、2010年(平成22年10月1日現在)は208万773人で、全国の中で多い方から順に第17位です。

人口ピラミッドは、男女共に60歳から64歳と35歳から39歳を中心に2つの膨らみを持つ型となっており、全国と比較して、生産年齢人口(15～64歳)が少ない構成となっています。



年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)は減少傾向、老年人口(65歳以上)は増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。

将来推計によると2040年には高齢化率35.9%になることが予想され、人口の約3分の1以上が高齢者となる社会を迎えます。



人口動態統計は、以下のように推移しています。

増加傾向にあるもの： 死亡 離婚

減少傾向にあるもの： 出生 乳児死亡 死産 周産期死亡 婚姻

合計特殊出生率は、昭和50年代に2.00を割り年々減少傾向にあります。2004年(平成16年)には一番低い率となりましたが、ここ数年では緩やかな上昇傾向がみられます。

表1 岐阜県の人口動態統計の推移

		1970年 (S45)	1975年 (S50)	1980年 (S55)	1985年 (S60)	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)
出生	実数	32,287	31,538	25,834	23,873	20,292	20,187	20,276	17,706	16,887
	率(人口千対)	18.5	17.0	13.2	11.7	9.9	9.7	9.7	8.6	8.3
死亡	実数	13,008	12,908	13,011	13,240	14,055	15,811	16,577	18,511	20,220
	率(人口千対)	7.4	6.9	6.7	6.5	6.8	7.6	8.0	8.9	9.9
乳児死亡	実数	219	340	196	147	79	74	53	54	41
	率(出生千対)	16.3	10.8	7.6	6.2	3.9	3.7	2.6	3.0	2.4
死産	実数	2,030	1,414	1,008	935	670	555	611	469	382
	率(出産千対)	59.2	42.9	37.6	37.7	36.6	26.8	29.3	25.8	22.1
周産期死亡	実数	—	—	—	382	—	123	112	105	65
	率(出産千対)	—	—	—	15.8	—	6.1	5.5	5.9	3.8
婚姻	実数	16,155	14,659	11,844	11,138	10,770	11,848	12,113	10,512	10,087
	率(人口千対)	9.2	7.9	6.1	5.5	5.2	5.7	5.8	5.1	4.9
離婚	実数	1,288	1,552	1,728	2,085	1,994	2,507	3,472	3,564	3,395
	率(人口千対)	0.74	0.84	0.89	1.02	0.97	1.20	1.67	1.72	1.66

出典 厚生労働省「人口動態統計」

【合計特殊出生率】(年)

1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)
2.12	2.00	1.80	1.81	1.57	1.49	1.47	1.37	1.38	1.36	1.31	1.37	1.35	1.34	1.35	1.37	1.48

出典 医療整備課「各年 衛生年報」

周産期死亡 妊娠満22週以降の死産＋生後7日未満の子の死亡を表します。

合計特殊出生率 その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを産むと過程したときの子どもの数に相当します。

(2) 死亡

死亡率が高い死因は、

- 1位 悪性新生物
- 2位 心疾患
- 3位 脳血管疾患 です。

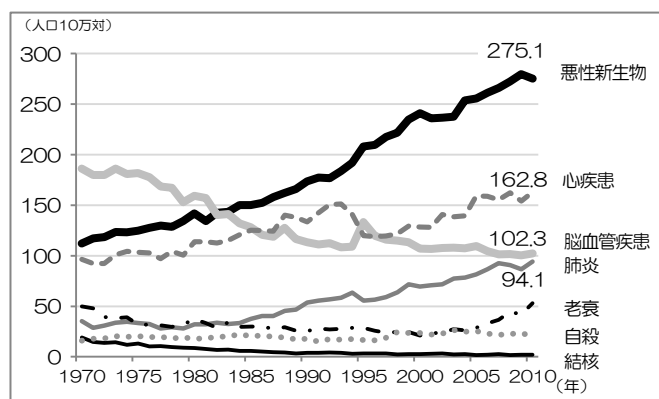
悪性新生物は、年々増加しています。

心疾患は、1995年(平成7年)に大きく低下しましたが、再び増加傾向にあります。

脳血管疾患は、1995年(平成7年)に大きく上昇し、その後緩やかな減少傾向にあります。

近年では死因第4位である肺炎が増加し、第3位に近づきつつあります。

図3 岐阜県の主要死因別死亡率の推移



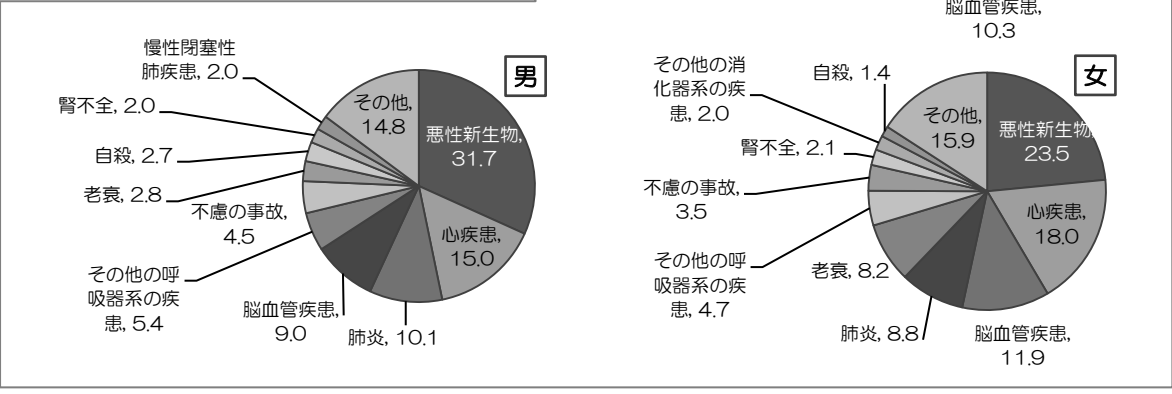
出典 厚生労働省「人口動態統計」

死因の上位3位を占める三大死因が全死因に占める割合は、男女計では54.6%、男性は55.7%、女性は53.4%を占めています。

男女を比較すると、男性は悪性新生物で死亡割合が多く、女性は心疾患での死亡割合が多い状況です。

男性は、脳血管疾患を抜いて、肺炎が死因の第3位となっています。

図4 岐阜県の死因別死亡割合（上位10位）
2010年（平成22年）

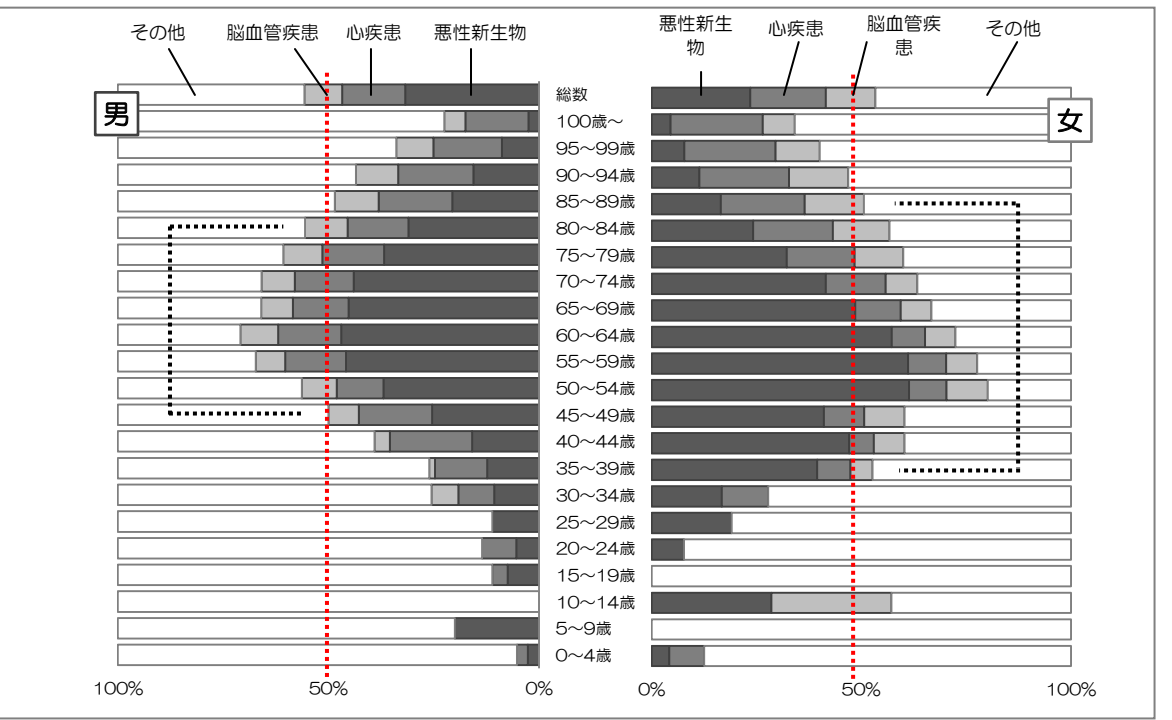


出典 厚生労働省「人口動態統計」

性・年齢(5歳階級)別の三大死因死亡構成割合は、三大死因の合計が一番高い年代は、男性は60歳から64歳、女性は50歳から54歳であり、男女とも壮年期がピークとなっていますが、男女間で10年の差があります。これは、悪性新生物での死亡割合の高さとも一致します。

また、三大死因が50%以上を占めている年代は、男性は45歳から84歳、女は35歳から89歳です。

図5 岐阜県の三大死因死亡状況（性・年代階級別）2010年（平成22年）



出典 厚生労働省「人口動態統計」

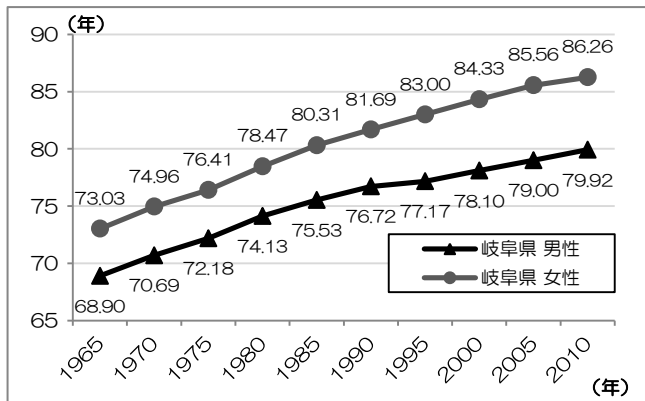
2 平均寿命

平均寿命は年々増加し、1970年(昭和45年)には男女ともに70歳を超え、1985年(昭和60年)には75歳を超えました。

全国の中での岐阜の位置は、高い方から数えて男性は上位にあります、女性は下位にあります。

男女の差は2005年(平成17年)まで年々増加し、2010年(平成22年)では差が減少しましたが、約6年の開きが生じています。

図6 岐阜県の平均寿命の推移



出典 厚生労働省「都道府県別生命表」

表2 全国と岐阜県の平均寿命の推移

		1965年 (S40)	1970年 (S45)	1975年 (S50)	1980年 (S55)	1985年 (S60)	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)
岐阜県	男	68.90	70.69	72.18	74.13	75.53	76.72	77.17	78.10	79.00	79.92
	順位(位)	5	5	9	9	7	3	7	9	16	11
	女	73.03	74.96	76.41	78.47	80.31	81.69	83.00	84.33	85.56	86.26
	順位(位)	20	27	40	39	39	41	37	39	35	29
	男女差	4.13	4.27	4.23	4.34	4.78	4.97	5.83	6.23	6.56	6.34
全国	男	67.74	69.31	71.73	73.35	74.78	75.92	76.38	77.72	78.56	79.55
	女	72.92	74.66	76.89	78.76	80.48	81.90	82.85	84.60	85.52	86.30
	男女差	5.18	5.35	5.16	5.41	5.70	5.98	6.47	6.88	6.96	6.75

※順位 47都道府県中の順位(高い方からの順位)

※1995年(平成7年)の全国は阪神・淡路大震災の影響を除去していない数値を記載

出典 岐阜県：厚生労働省「都道府県別生命表」

全国：厚生労働省「完全生命表」

3 健康状態

(1) 健康の認識

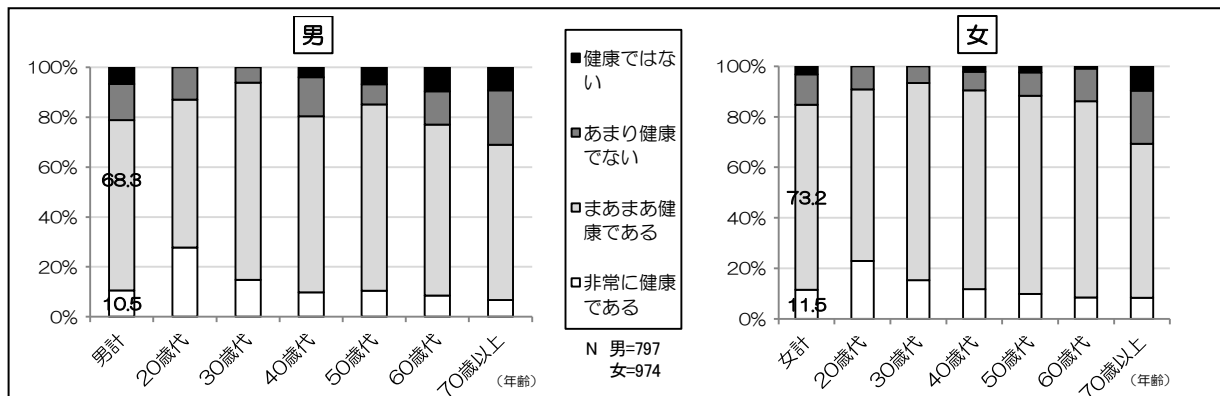
県民が「健康である」と感じている割合は、男性78.8%、女性84.7%であり、女性の方が高い状況です。

男女ともに年代が高くなるにつれて、「健康ではない」と感じている割合が上昇しています。

※ 健康である 「非常に健康である」又は「まあまあ健康である」と答えた人

※ 健康ではない 「あまり健康でない」又は「健康ではない」と答えた人

図7 岐阜県民の自己の健康に関する認識 2011年度(平成23年度)



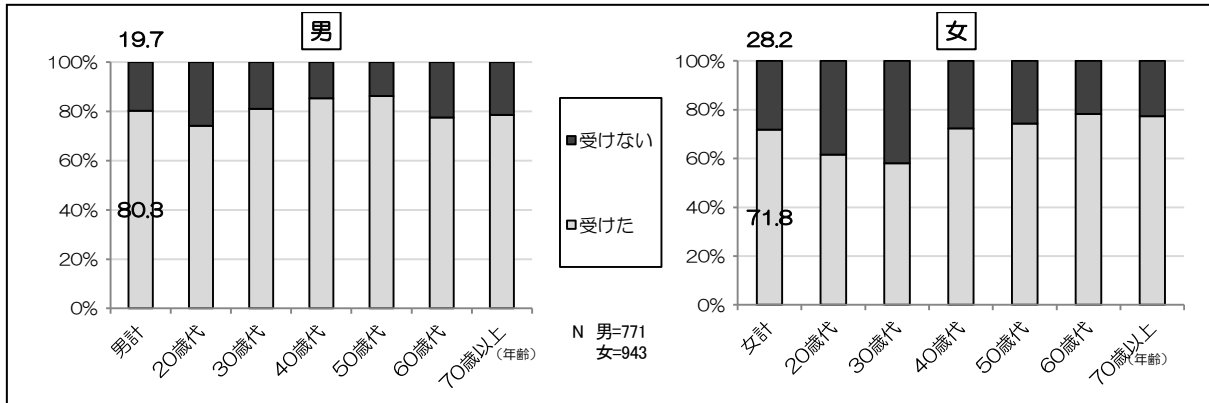
出典 保健医療課「平成23年度 岐阜県民健康意識調査」

(2) 健康診断

2011年度(平成23年度)調査時の県民の過去1年間の健康診断等の受診状況は、男性の方が女性より高い受診率となっています。

※ 健康診断等 : 特定健康診査、職場での定期健康診査、人間ドックなど(ただし、がん検診のみの受診の場合は除く)

図8 岐阜県民の健康診断等の受診状況 2011年度(平成23年度)



保険者が実施する特定健康診査・保健指導の状況は、健診受診率、保健指導実施率ともに全国値より高い状況にあります。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は年々減少しており、2010年度(平成22年度)の割合は、全国の中で最も少ない割合でした。

表3 岐阜県の特定健康診査・保健指導の状況

【特定健康診査受診率・特定保健指導実施率】(%)

特定健康診査 特定保健指導		2008年度 (H20)	2009年度 (H21)	2010年度 (H22)
健康診査	岐阜県	39.2	40.8	43.0
	順位(位)	15	18	16
	全国	38.9	41.3	43.2
保健指導	岐阜県	13.7	18.2	19.0
	順位(位)	1	7	6
	全国	7.7	12.3	13.1

※順位 都道府県別の順位(率が高い方からの順位)

【メタボリックシンドローム】(%)

メタボリック シンドローム		2008年度 (H20)	2009年度 (H21)	2010年度 (H22)
該当者	岐阜県	13.9	13.5	13.1
	順位(位)	17	11	4
	全国	14.4	14.4	14.4
予備群	岐阜県	11.2	10.9	10.3
	順位(位)	4	1	1
	全国	12.4	12.3	12.0
予備群 + 該当者	岐阜県	25.1	24.3	23.4
	順位(位)	10	2	1
	全国	26.8	26.7	26.4

※順位 都道府県別の順位(率が低い方からの順位)

※メタボリックシンドロームは、特定健康診査受診者のうちに占める割合

出典

岐阜県：厚生労働省「医療費適正化計画の策定にかかる参考データ」(H25.3.8)

全国：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況(確報値)」

「特定健康診査・特定保健指導」とは

医療保険者が、加入者に対して実施する生活習慣病予防のための健康診断と保健指導です。平成20年4月から開始され、40歳から74歳の者が対象者となります。

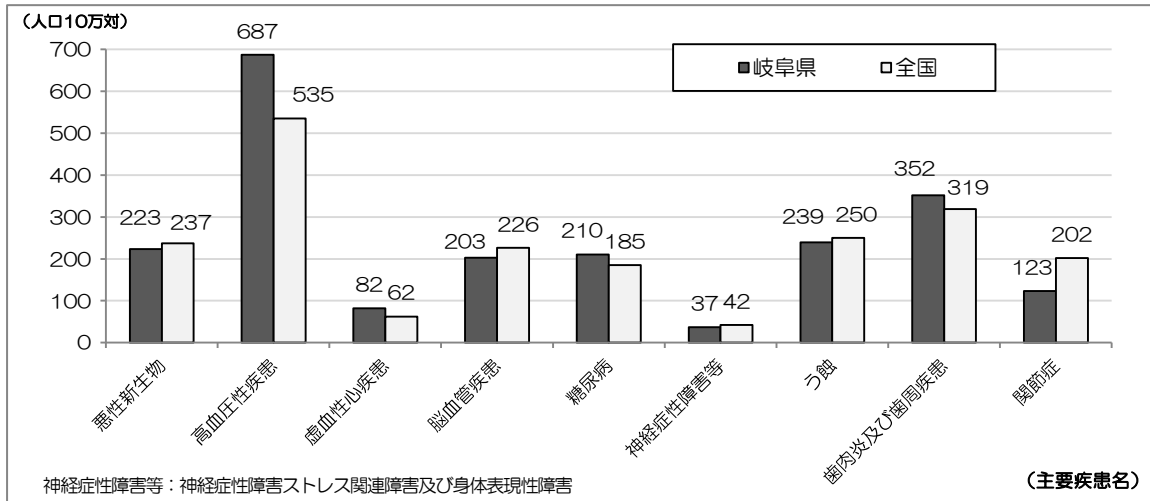
健診は、メタボリックシンドロームに着目した検査項目で、健診結果により生活習慣を見直す保健指導が行われます。

(3) 受療状況

主要疾患の受療率は、全国と比較して以下のような状況です。

全国より高いもの： 高血圧性疾患 虚血性心疾患 糖尿病 歯周炎及び歯周疾患
 全国より低いもの： 悪性新生物 脳血管疾患 神経症性障害等 う蝕 関節症

図9 全国と岐阜県の主要疾患の受療率 2011年(平成23年)



出典 厚生労働省「平成23年 患者調査」

「受療率」とは

ある特定の日に疾患治療のために、すべての医療施設に入院又は通院、往診を受けた人口 10 万人あたりの患者数を表します。

上記グラフの数値は、入院の受療率と外来の受療率をたしたものを示しています。

主要疾患受療率の1996年(平成8年)から2011年(平成23年)にかけての推移は、以下のような状況です。

増加傾向にあるもの

歯肉炎及び歯周疾患

減少傾向にあるもの

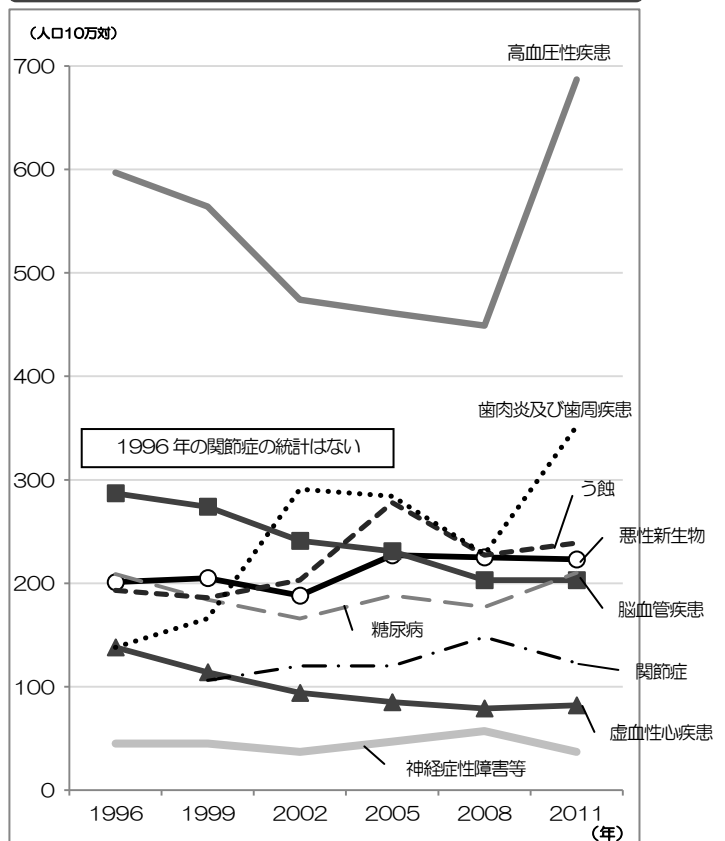
脳血管疾患 虚血性心疾患

神経症性障害等：

神経症性障害ストレス関連障害及び身体表現性障害

出典 厚生労働省「患者調査」

図10 岐阜県の主要疾患の受療率の推移



(4)介護保険

介護認定を受けている第1号被保険者は76,653人で、身の回りのこと全てに介助が必要となる要介護4以上の割合は25.7%と、全体の認定者の4分の1を占めています。

年齢別では、要介護又は要支援の認定を受けている前期高齢者(65～74歳)は、全体の12.5%を占めています。

表4 岐阜県の要介護・要支援認定者の状況 2010年度(平成22年度)

		要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
第1号 被保険者	人数 計	8,277	9,478	0	13,029	14,565	11,529	10,260	9,515	76,653
	65-74歳	1,146	1,392	0	1,443	1,923	1,342	1,113	1,223	9,582
	75歳-	7,131	8,086	0	11,586	12,642	10,187	9,147	8,292	67,071
	割合(%)	10.8	12.4	0.0	17.0	19.0	15.0	13.4	12.4	100.0
第2号 被保険者	人数	184	233	0	318	538	387	308	411	2,479
	割合(%)	7.4	9.4	0.0	12.8	21.7	15.6	12.4	16.6	100.0

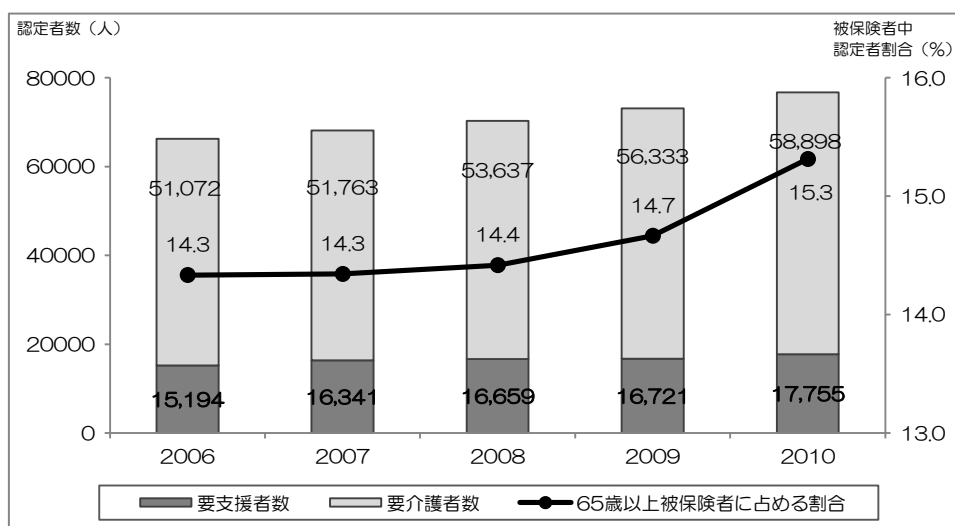
出典 岐阜県高齢福祉課「介護保険事業状況報告(平成22年度年報)」

第1号被保険者 介護保険において、65歳以上の人を表します。
第2号被保険者 介護保険において、40歳から64歳の医療保険加入者を表します。(生活保護法により医療扶助を受けるなど、医療保険に加入していない人を除きます。)

要介護又は要支援の認定を受ける第1号被保険者は、年々増加しています。特に介護を受ける人が増加しています。

65歳以上の介護保険被保険者に占める要介護又は要支援の認定者の割合も、年々増加しています。

図11 岐阜県の要介護・要支援認定者(第1号被保険者)の状況



出典 岐阜県高齢福祉課「介護保険事業状況報告」